

令和2年度 伊予中学校 学校評価

令和2年12月実施

項目	質問内容及び目標値	総合評価	学校による考察・改善方法	評価	アンケート結果(%)				肯定率 (1, 2の計)
					1	2	3	4	
学習指導と教育課程	年間計画どおりに学習指導が進めている。 目標値: 肯定率100%(教①)	A	コロナ禍の中ではあるが、7時間授業を取り入れ、授業時数の確保はできている。来年度に向けて、積み残しがないよう各教科で進捗状況を把握して進めたい。	教職員① A 生徒 保護者 地域	33 - - -	50 - - -	8 - - -	8 - - -	83
	よく分かる授業に努めている。(よく分かる授業をしている。) 目標値: 肯定率80%(教②・生⑪・保⑥)	A	できていると評価している生徒が半数おり、高評価である。継続して「分かる授業」を推進できるよう各教科で工夫に努めたい。	教職員② A 生徒 ⑪ A 保護者⑥ A 地域	42 49 18 -	58 43 67 -	0 5 13 -	0 4 2 -	100 91 85
	自分の考えをまとめたり、伝え合う授業改善に取り組んでいる。(生徒: じっくり考え、進んで発言・話し合い。) 目標値: 肯定率80%(教③・生②)	B	生徒の評価がやや低い。各授業の中で、小集団による話し合い活動を積極的に取り入れ、深い学びにつながるような授業改善を図りたい。	教職員③ A 生徒 ② B 保護者 地域	33 38 - -	50 40 - -	17 20 - -	0 2 - -	83 78
	道徳の時間を要に「心を耕し鍛える」道徳教育を推進している。(自分の思い・考えを深めている。) 目標値: 肯定率80%(教④・生⑤)	A	各学級で充実した道徳の授業が進められ、生徒の満足度は高い。しかし、教職員は道徳の授業の在り方について研修の必要を感じており、今後ローテーション道徳の完全実施などについて研修を重ね、授業力を高めていきたい。	教職員④ A 生徒 ⑤ A 保護者 地域	17 52 - -	75 41 - -	8 7 - -	0 1 - -	92 93
	授業に真剣に取り組む、学力向上を目指して努力している。 目標値: 肯定率80%(教⑤・生①)	A	全体的には肯定率が高い評価結果である。3や4と回答している生徒もいるため、生徒の意欲をより高める工夫をしていきたい。	教職員⑤ A 生徒 ① A 保護者 地域	42 44 - -	58 42 - -	0 13 - -	0 1 - -	100 86
	家庭での学習習慣が身に付く指導をしている。(身につけている。) 目標値: 肯定率80%(教⑥・生⑦・保①)	B	教職員と生徒の間で評価での差が若干感じられる。基礎基本の定着に向けて、更なる家庭における学習習慣を身に付けさせる手立て等を検討していきたい。	教職員⑥ A 生徒 ⑦ B 保護者① B 地域	25 34 23 -	75 44 38 -	0 18 27 -	0 4 11 -	100 77 62
	生徒会活動・学校行事・部活動等で充実した活動を展開している。(充実している。) 目標値: 肯定率80%(教⑦・生④・保④)	A	コロナ禍で大きな学校行事が規模縮小で実施されたり、中止になったりするなど、今年度は生徒会活動や部活動の充実については評価しにくい。	教職員⑦ A 生徒 ④ A 保護者④ A 地域	17 62 34 -	67 33 50 -	0 2 15 -	17 3 2 -	83 95 84
	伊予中「あいうえお」に取り組むよう継続的に指導している。(実現できるよう取り組んでいる。) 目標値: 肯定率80%(教⑧・生⑥)	A	継続して6年目の取組であるが、伊予中「あいうえお」自体の意図があまり周知されていない。ランドデザインの内容も含めて検討する必要がある。	教職員⑧ C 生徒 ⑥ A 保護者 地域	8 47 - -	33 40 - -	42 12 - -	17 1 - -	42 87
学校関係者評価委員の所見	教職員、生徒、保護者、それぞれの評価に温度差を感じる部分がある。教職員の評価と保護者の評価に差がある項目があるため、学校のPR・頑張りを積極的に校外へ発信する機会を設けてはどうか。(今年度はコロナの影響で発信しにくい現状ではあったが。)		学校の対応	伊予中「あいうえお」は生徒会が考案した生徒会のためのスローガンであるが、現在、本スローガンを生かした生徒会活動が推進されていないのが現状である。今後、本スローガンを軸にした自主的な生徒会活動を推進していきたい。また、学校の取組を学校だよりやホームページを通じて地域の方に発信する場を更に増やしたい。					
人権・同和教育	一人ひとりを大切にし、人間尊重を基盤とした集団づくりができている。 目標値: 肯定率80%(教⑨・生⑮・保⑧)	A	全校体制での取り組みにより、良い評価を得ている。今後は人権委員会の活動を中核にして、より啓発を進めたい。	教職員⑨ A 生徒 ⑮ A 保護者⑧ A 地域	8 57 20 -	83 37 66 -	8 5 13 -	0 2 1 -	92 94 87
	人権・同和教育に計画的に取り組む、人権意識の高揚を図っている。(仲間づくりなどに進んで取り組んでいる。) 目標値: 肯定率80%(教⑩・生⑧・保⑨・地①)	A	学級担任を中心に、それぞれの学年・学級の状態に応じて適切な指導を行っていることにより良好な評価を得ている。引き続き継続していきたい。	教職員⑩ A 生徒 ⑧ A 保護者⑨ A 地域 ①	17 54 25 -	67 39 62 -	17 5 13 -	0 2 0 -	83 93 87
学校関係者評価委員の所見	人権参観日や人権委員会を通して学んだ事を、引き続き、各家庭においても話題にだして更に生徒達の人権意識を高めてほしい。		学校の対応	「伊予中学校人権宣言」を基に、互いの人権を尊重し合える集団づくりに努める。公民館で行われる人権教育に引き続き協力して取り組んでいく。					

項目	質問内容及び目標値	総合評価	学校による考察・改善方法	評価	アンケート結果(%)				肯定率 (1, 2の計)	
					1	2	3	4		
生徒指導	いじめ、不登校に対して誠実な態度で未然防止、早期発見、早期対応に努めている。 目標値：肯定率80%(教⑪・生⑬・保⑩)	A	全般的に良好である。いじめについては、どの学校でも起こり得ることを前提に、生徒の様子をよく観察するとともに、個別の声かけや教師間の連携を重視したい。	教職員⑪ A 生徒⑬ A 保護者⑩ A 地域	50 27 65 -	50 8 9 -	0 1 3 -	0 1 3 -	100 91 88	
	様々な機会を通じて生徒と関わり、生徒理解に努めている。 目標値：肯定率80%(教⑫・生⑭・保⑪)	A	全体的に良い評価を得ている。それぞれの家庭に事情があり、それが原因で登校に不安を抱えている生徒も若干名いた。表に現れにくい生徒の悩みを日頃の監察等を通して受け止められる余裕をもって、個別の生徒指導にあたりたい。	教職員⑫ A 生徒⑭ A 保護者⑪ A 地域	58 31 23 -	42 8 64 -	0 3 12 -	0 3 1 -	100 89 87	
	生徒も教師も気持ちのよいあいさつができる。 目標値：肯定率80%(教⑬・生⑯・保⑤・地②)	A	「あいさつが低調になってきている」と教師・生徒ともに感じている。教職員が率先してあいさつを行うとともに、生徒へ呼び掛けを行っていききたい。	教職員⑬ C 生徒⑯ A 保護者⑤ A 地域②	25 40 35 -	33 43 52 -	25 14 12 -	17 3 1 -	58 82 87	
	朝食をとる、身だしなみを整える、時間を守るなど基本的な生活習慣が身に付くよう指導している。(身に付いている。) 目標値：肯定率80%(教⑭・生⑨・保②)	A	肯定率が高く、良い傾向である。好ましい生活習慣が定着するよう、継続して指導していききたい。	教職員⑭ A 生徒⑨ A 保護者② A 地域	42 72 42 -	50 21 46 -	8 7 12 -	0 0 1 -	92 93 87	
	学校関係者評価委員の所見	「挨拶」は生徒の気持ちや状態を把握する上でも大切である。今後も継続して生徒達に、会釈や挨拶をするよう指導してほしい。		学校の対応	教員や生徒が挨拶ができるよう、意識して指導をしていきたい。今年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、学校行事が殆ど中止となった。コロナ禍でも、地域と子どもたちがつながれるような手立てを考えたい。					
	安全管理	保護者・地域と連携し、地域ぐるみの安全確保に努める体制ができている。(生徒：安全な登下校) 目標値：肯定率80%(教⑮・生⑩・保⑫・地③)	A	良い評価を得ている。担当者や学級担任の細やかな呼び掛けを継続することにより、生徒が安全に登下校ができるようにしたい。	教職員⑮ A 生徒⑩ A 保護者⑫ A 地域③	25 82 32 -	67 17 64 -	8 0 4 -	0 1 1 -	92 99 95
		避難訓練等を計画的に実施し、非常時に対応できる体制をとっている。 目標値：肯定率80%(教⑯・生⑰・保⑬)	A	全体的に良い評価である。今後とも本校の実態にあった(垂直避難含む)避難訓練等の実施により、危機に対応できるよう改善していききたい。	教職員⑯ A 生徒⑰ A 保護者⑬ A 地域	17 63 37 -	75 35 59 -	8 1 3 -	0 1 0 -	92 98 97
		校内安全点検を定期的実施し、潜在危険の除去に努めている。 目標値：肯定率100%(教⑰)	A	破損箇所は速やかに修繕を行い、生徒が安全に学校生活を送れるよう環境を整えたい。	教職員⑰ A 生徒 保護者 地域	50 - - -	50 - - -	0 - - -	0 - - -	100
	学校関係者評価委員の所見	本年度も前年度に引き続き、大きな交通事故等の事実はない。しかし、本校校区には30km制限区域もあり、危険箇所などの指摘があるため、引き続き通学中の安全確保に努めてほしい。		学校の対応	登下校時に危険となる箇所の見回りを強化し、生徒が安全に通学ができるよう細やかな呼び掛けを行うとともに、登校指導などの機会を通して、事故ゼロ！！を達成したい。					
	特別支援教育	学習が遅れがちな生徒や配慮を要する生徒への適切な指導ができている。(個別指導や学習相談等) 目標値：肯定率80%(教⑱・生⑲・保⑦)	B	授業が分りにくいと感じるようになった生徒が出てきている。ITの活用や個別指導・学習相談の改善に努めたい。課題の設定や提示の仕方、指示の与え方などを工夫していききたい。	教職員⑱ A 生徒⑲ A 保護者⑦ B 地域	8 51 16 -	75 38 63 -	17 10 20 -	0 1 2 -	83 89 79
		特別支援教育に対する教職員の共通理解が図られ協力体制を整えている。 目標値：肯定率80%(教⑲)	B	支援が必要な生徒について職員会等(ケース会議)を開催し、全教職員で共通理解を図り、一貫した支援を行い、生徒が安心して学校生活を送れるようにしたい。	教職員⑲ C 生徒 保護者 地域	17 - - -	33 - - -	50 - - -	0 - - -	50
	学校関係者評価委員の所見	生徒の理解の状況に応じて、引き続き適切な指導を行ってほしい。		学校の対応	前回の調査より、生徒・保護者の肯定率が高くなっている。引き続き教職員の横の連携を密に取り、適切な指導ができるよう取り組んでいきたい。					

項目	質問内容及び目標値	総合評価	学校による考察・改善方法	評価	アンケート結果(%)				肯定率 (1, 2の計)	
					1	2	3	4		
研修	研修計画に沿って授業研究に取り組み授業力の向上に努めている。 目標値: 肯定率80%(教⑳)	B	「分かる授業」を進めていくために、各教科の指導方法の改善や、教職員用の研修を行っていく必要がある。	教職員⑳	C	17	33	42	8	50
	生徒			-	-	-	-	-	-	
	健全な社会人として信頼されるよう努めている。 目標値: 肯定率80%(教㉑)	A	教育公務員としてのサービスの徹底を行い、生徒は勿論、保護者や地域から信頼される職員を目指したい。	教職員㉑	A	50	50	0	0	100
				生徒	-	-	-	-	-	-
学校関係者評価委員の所見	夜遅くまで頑張っている先生方がいるため、健康面が心配である。早く職員室の電気が消えるようになってほしい。		学校の対応	業務改善に努めることにより、心身とも健康な状態で子どもたちの指導に当たれるように努めたい。また、保護者・地域から信頼される教師集団となれるよう、引き続きサービスを徹底したい。						
地域連携	学校教育の様子を学校だよりやホームページ等で情報発信している。 目標値: 肯定率80%(教㉒・生⑳・保⑭・地④)	A	学校だよりやホームページなどを活用して、速やかに情報発信ができるよう今後とも努力したい。	教職員㉒	A	25	58	17	0	83
	生徒 ⑩			A	67	25	6	3	92	
	地域の教育資源(ひと・もの・こと)を生かした活動を推進している。「来てもらったり、出向いたり・・・」 目標値: 肯定率85%(教㉓・生⑲・保⑮・地⑤)	A	コロナ禍の影響を受け、地域の教育資源(ひと・もの・こと)を生かした活動を推進を図ることができなかった。コロナ禍でも地域資源を活用できる手立てを考えていきたい。	保護者⑭	A	32	52	14	2	84
				地域 ④	-	-	-	-	-	-
	学校から発信した文書類は、保護者の手元に確実に届いている。 目標値: 肯定率85%(生③・保③)	B	生徒は、文書類を保護者に届けていると評価している。反面、一部の保護者は、手元に届きにくいと感じており、確実に届くように指導したい。	教職員㉓	B	8	58	33	0	67
				生徒 ⑲	A	63	29	7	2	92
	学校、PTA、地域はリサイクル運動等様々な行事を通して、よく協力して活動している。 目標値: 肯定率80%(教㉔・生㉑・保⑯・地⑥)	A	コロナ禍の影響を受け、年間計画に沿った活動は殆ど出来なかった。	保護者⑮	A	28	60	10	2	89
				地域 ⑤	-	-	-	-	-	-
教職員				-	-	-	-	-	0	
生徒 ③				A	55	30	13	2	85	
学校関係者評価委員の所見	コロナ禍で色々な行事が今年度は中止になってしまった。もう少し、ホームページ等で学校の様子を発信して欲しい。		学校の対応	コロナ禍でも地域の方との連携が取れるような取組を考え、厳しい条件下でも地域との連携が取れるような手立てを考えていきたい。						
	施設・設備や教材・教具が充実していて、活用している。 目標値: 肯定率80%(教㉕・生㉒)	A	限られた予算の中ではあるが、必要性の高い教材・教具から順次購入していくようにしたい。	保護者③	B	30	45	19	5	75
				地域	-	-	-	-	-	0
学校関係者評価委員の所見	普段から綺麗に清掃がされており、訪問時にとっても気持ちが良い。設備も大変良く考慮して揃えてくれている。現在の施設や教材などを大切に使う指導を継続してほしい。		学校の対応	教職員㉔	A	33	58	8	0	92
				生徒 ㉑	A	70	26	4	1	96
				保護者⑯	A	41	53	5	0	95
				地域 ⑥	-	-	-	-	-	-
				現有の施設・備品を感謝の気持ちを持って丁寧に使用していくようにしたい。破損箇所は市教委と相談しながら修繕しており、今後も速やかに対応したい。						